

ぞう組～夏の活動の様子～

いくぞー、それっ！

プールは3チーム交代で行います。ホワイトボードに名前を張り出しておくと、読むのが得意な子たちは「あ、今日は①チームや」「私は③チーム」などと会話したり、他の子も読める子に教えてもらったりして、それぞれのやり方で自分の名前がどこにあるかを確認し、プールの順番を楽しみに待っていたぞう組の子どもたち。

プール開きでは「か・ぶ・と・む・し」の約束を覚えてもらいました。プール中に楽しくなりすぎて、ついついふざけてしまうことがあっても「かぶとむしの約束はなんだったかな？」と保育士が声をかけるとハッと我に返り、約束を意識しながら遊んでいました。

最初は宝石拾いや水鉄砲で遊んだり、好きな泳ぎ方でフープのトンネルをくぐったりして、楽しみながら水に慣れていきました。なかには、水が跳ねて顔にかかるのが苦手な子もいますが、楽しく遊んでいるうちに、いつの間にか気にせず遊んでいてビックリ。後半になってくると、顔つけやバタ足に挑戦したり、ビート板を持って泳ごうとしてみたりする子たちもでてきて、それに刺激を受けて、自分もやってみようかな…と真似しようとする子が増えました。

天気運もよかったのか、ぞう組のプールは中止になることもなく、みんな楽しくプールができて、良かったです。



カブトムシが生まれると、毎日カブトムシを出して観察を楽しむようになりました。昆虫ゼリーをあげたり、水を霧吹きでかけたりしてお世話をし、カブトムシの通る道を箱や積み木をならべて作りました。

バッタを捕まえると、見て楽しむだけでなく「ご飯がないと死んでしまうよ」と、どんな食べ物が好きなのかを図鑑で見ても食べそうなものを入れてあげる姿も見られるようになってきました。

アイス屋さん



スライムあそび



ALT



吹き絵 (はなび)



カプラ